

## 高津校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成28年9月2日（金）19:00～21:00  
場所 高津公民館  
司会・進行 西岡連合自治会長  
参加者数 男 96人 女 34人 合計 130人



質疑応答（要約）

### **1. 連合自治会共通の市政課題**

市政課題名（安全・安心のまちづくり）

「高津まちづくり構想」の説明と①挨拶・見守り実行委員会、②自治会活性化実行委員会、③三世代交流わいわいクラブ、④災害対策実行委員会より、それぞれ活動内容の現状と今後の展望について説明があり、事業実施に係る交付金の要望があった。

### **2. 過去の主要な地域課題の状況報告**

課題名（宇高西筋線（高津小学校前北～サークルK）水路2箇所の蓋の施工について）  
（建設部長）

吉岡泉土地改良区及び隣接地権者様等と平成28年7月27日に現地で立会し、蓋架けの構造や延長について協議しましたところ、検討箇所2箇所のうち南側の1箇所については、蓋架けだけではなく、老朽化している水路本体も改修するという条件で関係者の皆様のご承諾を頂きました。なお、蓋架け1箇所当たりの延長は、大型バスの通行を想定して25

m程度といたします。

今後は、具体的な改修計画図面を準備し詳細な協議を行ったうえで事業費の見直しを行い、出来るだけ早期に工事着手出来るよう条件整備に努めてまいります。

また、残り1箇所につきましても、関係者の皆様のご承諾が得られますよう引き続き協議を進めてまいります。

課題名（ 高津公民館の増改築工事等について ）

（教育長）

宿直室の改造については、現在、公民館全体の施設整備計画に基づいて、老朽化しているトイレの改修や調理室へのエアコン設置などを優先的に行っておりますが、その計画に位置付けて実施してまいりたいと考えています。

シャワー室の設置については、公民館に適切な設置場所がなく増築が必要となると考えられるため現状では困難と考えております。シャワー設備の設置に合わせた「ソーラーの非常電源の確保」につきましては、市内の各避難所に非常電源用の発電機を配備いたしておりますので、ご理解をお願いいたします。

2階への会議室増築については、平成27年度に実施した耐震診断では現状での耐震補強工事は必要ないとの結果が出ており、当該工事により建物に負荷がかかることが懸念されるため増築工事は困難であると考えております。

公民館備品の転倒防止対策についてですが、ガラス棚、図書館や事務所の棚については、転倒防止の措置を講じました。冷蔵庫等の転倒防止がまだできていないようですので、館長とも相談し今後対応して参りたいと思っております。

公民館駐車場についてですが駐車場用地の取得は困難なため、小学校や近隣施設を活用していただきますようお願いいたします。

（連合自治会長）

宿直室の改造については、平成29年度と理解していいですか。

（教育長）

現在、平成32年度までの計画を立てており、その中では、平成29年度の対応と考えております。

（連合自治会長）

シャワー室について、非常階段下が難しいのであれば、2階の会議室増築要望のところに、ユニット式だと排水、水道関係だけでいいので簡単に設置できると思うので提案します。

非常用発電機について、たくさんの方が避難している時に1台では、事務所の中の情報収集などのために使わなければいけないものになると思います。公民館は、高圧受電ですので発電機をいれて、既設の電灯線につなぐのは、技術的に難しいと思うので、そのことを十分考えて検討して頂きたい。今後とも配置台数の増加を検討して頂きたい。

(公民館館長)

駐車場について、利用状況、地区内人口、周辺の利用状況等を数値を出して分析して検討してほしい。

### 3. 校区課題

(1) 課題名 ( 都市計画道路・宇高西筋線の建設着手について )

質問 (連合自治会 東雲中央自治会)

長年かけての要望、また昨年度も課題として提案しました本件ですが、部分改良はされたものの、住民が望む安全安心な道路とはいえない状況です。本件は、高津のまちづくりを進めていく上で最も重要な課題の一つでもあり、高津地区と新居浜駅や新居浜インター等を結ぶ生活上、非常に重要な路線であります。昨年度は、防災上の観点、利用人口、通学路であることに対する認識はあるものの、早期着手は困難との回答でした。今年度になって以降、地元としても、市長・市議会議長をはじめ県関係部局や国会議員への要望もしたところですが、新規路線決定時には最優先で採択をお願いします。

回答 (建設部長)

現在、本市の主要幹線道路整備につきましては、国道11号新居浜バイパス、県道・新居浜港線、新居浜東港線、新居浜別子山線、金子中萩停車場線、市道・上部東西線、角野船木線、種子川筋線、平形外山線の各路線において早期整備・完成を目指して取り組んでおりますが、事業推進には多額の費用を要することから、事業着手後相当な年月が経過しているにもかかわらず全線開通には至っていない状況です。

こうした状況の下、ご要望の宇高西筋線につきましても、新居浜市都市計画マスタープラン等において整備路線として位置付けられてはおりますが、整備延長が約1.8kmと長く、その大部分が住宅地を通過することから多額の事業費が見込まれており、さらに、国の補助事業採択が新規路線に非常に厳しい状況となっていることもあって、昨年度も回答いたしましたとおり、本路線を都市計画事業として最優先で採択するには、非常に厳しい状況です。

しかしながら、本年5月には、地元から大変熱心な要望活動もあり、現交差点で事故が多発していること等も踏まえ、今後は新規路線の事業化だけではなく、敷島通りとの既設交差点の改良や現道拡幅を含めた道路整備についても県道新居浜東港線を所管する愛媛県と歩調を合わせながら、引き続き検討して参りたいと考えております。

(連合自治会 東雲中央自治会)

昨年度と同様の回答であり進展がない。今のままでは何か起こった時に災害道路としての活用も難しく、大型バスも昭和通りからしかアプローチできない。早期着工をお願いしたい。

(建設部長)

皆様方の強い要望もあり、県の方でも敷島通りの交差点改良については、今年の補正予

算に計上しようかという動きもあると聞いております。市としても北側部分の蓋掛けによる拡幅を行い、安全性を高めることを目的とした改良を行ってまいりたいと考えております。

意見（公民館館長）

道路の幅員が足りないため、登下校路に歩行者専用道路が取れてないのは市内で高津小学校だけである。子どもたちの安全のために、是非早期着手を要望する。

（２）課題名（ 宇高校区の公共下水道認可区域の編入について ）

質問（連合自治会 宇高自治会長）

公共下水道は、快適で機能的な都市活動を支えるための都市施設であるべきですが、宇高西筋線以東は、田園居住地区でありながら宅地開発が進み、未整備のため、沢津遊水地（公共水域）の汚濁、生活環境の改善がなされていない状況です。平成２４年度に要望したところ、事業計画の見直しは、平成２９年度との回答でした。

昨年度も同じ課題提案して平成２８年度から事業計画の見直しに向けての検討作業に入るとの回答をいただいたが、現在の見通しはどうかをお伺いします。

回答（環境部長）

宇高地区の公共下水道事業計画区域への編入についてですが、公共下水道事業は、生活環境の改善や公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的とした都市施設として、住居が密集した市街地を整備対象とし、高津校区においては小学校より西側が事業計画区域に入り、整備も概ね完了しています。

宇高地区の区域編入につきましては、昨年の校区懇談会で平成２９年度事業計画変更に向け、今年度から検討作業に入ると回答させて頂きました。既に予定通り調査・設計業務を設計コンサルタントに委託しており、これから本格的な作業を行ってまいります。高津地区の中でも小学校周辺は人口集中地区で、小学校西側南北道路には汚水幹線も入り、効率的な整備が見込まれる区域編入の候補地のひとつと考えており、今後、人口密度や投資効果などの検討を行ったうえで、区域を決定していく予定としております。

（連合自治会 宇高自治会長）

当該地区が見直しのたびに外されているのはなぜか。

（環境部長）

宇高地区はもともと農振農用地ということもあり、線引きが廃止されてからも基の市街化区域から整備してきたため、現状のような状態になっておりますが、今後は住宅密集地域の度合い等全体的なバランスを見て事業区域を選定していきたいと考えております。

（連合自治会 宇高自治会長）

コンサルタントに見直し業務を委託しているとのことだが、その経緯や具体的なスケジュールも可能な範囲で教えてほしい。

（環境部長）

今年度いっぱい基礎調査を進める予定で、来年度6月くらいには次回の事業計画区域がどのようになるかという概略につきましても説明できるかと考えております。

(3) 課題名 (清水右岸堤防道路 (市道石風呂平形橋の待避所又は2車線道路の確保) について)

質問 (連合自治会 沢津副自治会長)

市道石風呂平形橋線の新高橋から北鉄塔まで360mは、現況一車線道路です。この路線は、新居浜漁協や自動車学校等と民家があるため交通量も多い中で、待避所も少なく、離合困難による事故が起こりそうな状況です。

交通安全のためにも、この360m区間に50m毎の待避所の設置を要望します。

回答 (建設部長)

現地調査した結果、ご要望の約270mの区間において5箇所ほど待避所として整備可能な箇所がありました。舗装等の施工に際しましては、国領川の河川堤防上となるため、河川管理者である愛媛県の占用許可を取得する必要がありますので、今後は堤防の詳細調査を行ったうえで愛媛県と協議を行い、待避所設置について施工時期等具体的に検討してまいります。なお、待避所の候補地の一部において駐車場として使用されている箇所があり、舗装後に待避所として機能しなくなる恐れがあるため、地元自治会において沿線居住者の方と調整していただきますようお願いいたします。

【意見】 (清水町)

現在県において、地震津波対策で沢津のポンプ場の下部に矢板を設置しているが、それと合わせて、待避所の設置ではなく、新高橋まで道路全体の拡幅を行うべきではないか。

また、松の木の海岸堤防についても何らかの対策を講じるよう県に要望してほしい。

(市長)

沢津海岸の洗掘状況については承知しています。垣生海岸と比べても危険な状況ではあるので、これから現地調査等を行い、補強工事に着手するという報告を県からは頂いております。

(建設部長)

県の補強工事に伴いどこまで道路改良が可能であるか、県に確認しながら見極めてまいりたいと考えております。

(4) 課題名 (高津ハイツ (吉岡土地改良区駐車場の街区公園の設置) について)

質問 (連合自治会 南小松原自治会長)

設置場所は、伊予銀行高津支店から東200mの元宇高酒店の北側、吉岡泉土地改良区所有の現在、駐車場用地 (約800㎡) です。

本地区は、市街化区域の隣接地でD I D区域です。この周辺には、南沢津保育園やさくら乳児園などがあり、利用度も高く、地域住民からも設置の強い要望がありますので、よ

ろしくお願いします。

回答（建設部長）

現在、街区公園を含む公園整備の要望は非常に多く、用地買収費を含む公園整備費用は多額となるため、新たに整備する場合には、国の補助制度を活用しているのが現状です。

高津校区の人口集中地区には街区公園はございませんが、ご要望の公園につきましては、整備面積が約800㎡であり、補助事業でおこなう場合の面積要件である2ヘクタール以上に該当しないことから、市の単独予算での対応となります。

その場合に財政的に非常に厳しく、現在のところ整備は困難であると考えております。

なお、近隣にごございます松の木公園や国領川緑地につきまして、今後も適切な維持管理に努めて参りますので、そちらをご利用していただきますようご理解をお願いいたします。

（連合自治会 南小松原自治会長）

国領川緑地には遊具がないので、行っても遊びづらいと思うが。

（建設部長）

国領川緑地は県の河川内であるため固定物の設置はなかなか認められないということもございます。ご指摘の点も踏まえ、子どもたちやその親御さんが利用しやすい公園環境について、引き続き検討してまいりたいと考えております。

#### 4. その他

※沢津海岸の補強と清水町右岸道路拡幅については、提案議題3に関係するためそちらに記載